

○全町会区域図作成にご協力を

除排雪、下水道ゴミ収集その他、各方面から作業上の必要から要望されるので、三十五百分の一、二十八区にわたる地図に町会区域を記入してくだささい。事務局へお立ち寄の際は、お手紙でも一筆お願いたします。

○梨、不清掃センターから

各町会で集会の折、ごこに关する相談、お話し指導要請などございまして、二、三連絡先やいつでも出張の上、ご相談に応じますとのことご利用ください。

○除排雪説明会の出席表

地区	出席数	案内数
西部	27名	45名
南部	78名	120名
東部	20名	29名
西部	24名	36名
北部	15名	18名
滝内	23名	30名
計	221名	321名

重要な会合に町会長欠席される場合、副町会長と出席させて情報を得るようにしていただきたいものである。

○五十三年度の朝礼の除草刺カレータが好子

カレータ 二八四袋
 カトリ 一九五一ヶ
 テリワンE 一五四三本

除草刺が予想外にも多くございくりしている。ホリ袋は一八九七把(九回五、八、五、枚)

一町会当り平均五九把
 正しいつこの出し方、ホリ袋の普及で、大田市に定着して来たようである。

○部会長会議(執行部会)の開催

案件 一、五十三年度事業計画の反省と
 五十四年度事業計画の検討
 一、送券並に公安調査局への態度について

送券システムで街も騒々しくなるが、町会はおくまで厳止中、誤解を招かないよう、丁寧な説明が必要である。公安当局の協力要請に対しては、思想調査に発展する可能性もあり、人権問題、憲法違反、及ぼす恐れ、町会の機能でも共同防犯機能の範囲と遠脱するもので協力しないことに注意。

○街灯の二情報

市では、円高差益還元金額を二つの補助金から一灯に付、補助金×60%の差引くことを考えているが、こちらとしては、49年6月料金改訂以来、費用が料金が一灯毎に38円に上ったこと理由に、差引かめよう目下交渉中。

伸言
 町連

五十年桜のつどい

先般、当時の音中(青森中学)卒業後五十周年を記念して、同期の老桜ども、各地から集り、浅虫(東館)泊付きて、旧交を温めた。当時二百名の入学者が卒業時は約百五十名、毎年進級時にふり落され、二年連続の場合、退学になるので、たんだん在籍は減っていき、びびりさである。従って非行に走る余裕はなかつたような気がする。時たま集まることはあるが、五十年のタイムトンネルをくぐっては、紅顔の少年も、今や白髪まじりの老顔ばかり。昔の面影をさがすのに、時間がかかる。一九二九年(昭和四年)世界的経済不況の最中に社会に送られた連中、四十不惑なら自分の顔に責任をもち、ということばがある。さすが、それだけの仕事で鍛えた個性豊かな類ばかりである。医師、軍人、外交官、辯護士、神官、教育長、会社役員など多彩、但し肩書の上にも「も」とがつくのが多い。それだけに同期会の運営も内輪で大抵は問にあり。故人の慰霊祭等は、田川神宮(広田神社宮司)会場、世説は地元の米田六(米田良吉)故人となつたので、長男夫妻が献身的に世話してくれた。東京方面のものは、岡本省一氏(もと県教育長)企画、運営は、松原(もと小校長)前田(もと長島小校長)の両氏。誰が主役というつもりもないが、話題の主が時勢によって時々変わるのも面白い。一席挨拶させられるのである。戦時中は、海兵出の石戸角氏(もと艦長)彼の純白の軍服がまぶしかつたものである。終戦後、民主国家に一变し、労働攻勢は、なやかな時代になると、道庁職組から押され、係長から一躍長官になった田中敏文氏に代り、やがて世の中が落ちつく中、河内道氏(故人)が挨拶者の席につく、そして経済成長で世界の注目をあびた日本が、オイルショックで泣きとみて以来、国際情勢とくに産油国を中心とした情勢が気になる所柄。今回挨拶の座についたのは、八木正男氏(もとインドシマ大使)で、彼はお手のものの中、近東事情を話してくれた。主役の変わりようは、正に激動する近代日本の縮図を見る上である。一夜痛飲、敬談の末、昔の脱白者が、蜜声張り上げて、校歌を歌う姿は、同期会なら、この風景である。現町会長では、島谷哲爾氏(横山町)中山勝雄氏(三上町)の二人が同期の桜、先輩には、かたり町会長がいるようである。この、話のはずみでわかることがある。同じ校舎に学んだというだけで、何となく親近感を覚えるものである。五十年桜の花びらは色褪せて散り易い。元氣なうちにまた会おうと、次回の会合は古稀と、約して散会した。

△つつしんで弔慰の意を表します。

故桜川町々会長池田正義殿(一、二二死去 六十八歳)

本年度中に姿を消した方は、これにて四名になりました。寒は老の鬼門、ご健康にご留意ください。 寒念、佛遠くにさまで手締かな

かつお